

平成30年度決算審査における施策評価シート（分科会まとめ）

【 都市教育民生 分科会】

施 策 名	公共交通の充実
平成30年度 施策の評価 ①目標の達成状況、評価、課題認識は正しいか ②事務事業の組み立ての方向性は正しいか	①平成30年度の施策について、概ね適正に行われた。 ②市民ニーズ、事業の必要性、効果は概ね適正であるが、施策の中には必要と感じられない事業が見受けられた。
施策に係る提言	<p><u>(1) 三岐鉄道支援事業について</u> 沿線市町の少子化、人口減少が進む中、採算を取るのが難しい事業でありながら輸送人員実績が目標値を上回っている。 市民の移動手段を確保することが必要であるため、沿線市町と連携を図り引き続き事業を継続されたい。</p> <p><u>(2) 駐輪場・駐車場管理事業について</u> 駐輪場・駐車場を整備し管理することによって、利用しやすい駅となっている。 鉄道利用者を増加させるためには、駐輪場・駐車場の拡充をされたい。</p> <p><u>(3) 新交通システム建設促進事業</u> 引き続きリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に加入し、今後も動向を把握されたい。</p> <p><u>(4) 福祉バス運行事業</u> 高齢者など交通弱者の生活交通手段として定着している。 市民の生活交通手段を確保することは必要である。 今後、安全確保を最優先し、利便性の向上を図るため、有効な手段を模索しつつ事業を継続されたい。</p> <p><u>(5) 終着駅サミット in 阿下喜開催事業</u> 団体からの要望を受けての単年度事業であるため民間主導で行うべき事業である。 市民ニーズが高くない、継続事業としては考えられない。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

【総括】

少子化、人口減少が進む中、公共交通として採算を取るの難しい事業ではあるが、市民の移動手段を確保することが必要であり、現在の事業は市民にとって生活交通手段として定着している。

鉄道においては、沿線市町と連携を図り引き続き事業を継続されたい。利用者を増加させるための手段として駐輪場・駐車場を拡充し、パーク&ライドを推進されたい。

福祉バスにおいては、安全性を最優先し、利便性の向上を図るため、有効な手段を模索しつつ事業を継続されたい。

公共交通の充実を図ることは、誰もが暮らしやすく、定住・移住の促進に繋がる重要な施策である。

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ（分科会）

区分	施策名
1-1	公共交通の充実

事業名 三岐鉄道支援事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	5	○	通勤・通学や高齢者の交通手段として必要である。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	4	○	採算のとれない事業なので市民のニーズの高さも考えて市が行う必要性がきわめて高い。
	②必要性が高い(20点)	3		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)			少子化の進む中であっても、北勢線の利用者は微増。
	②効果がある(20点)	5	○	
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)	1		
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	1		指標である輸送人員で目標値を上まわっているため。
	②成果がある(20点)	5	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	沿線市町の少子化、人口減少が進む中、採算を取るのが難しい事業でありながら輸送人員実績が目標値を上まわっているため。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
3	市民の移動手段を確保することが必要であるため、沿線市町と連携を図り引き続き事業を継続されたい。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ（分科会）

区分	施策名
1-1	公共交通の充実

事業名 駐輪場・駐車場管理事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	5	○	パーク&ライドは必要。
	②ニーズが高い(20点)	1		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	○	鉄道の利用を促進するため。
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	2		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4	○	通勤定期利用者数が伸びている。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	4	○	乗客数が増加している。
	②成果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価		分科会の評価理由
6	6 きわめて良好である	駐輪場・駐車場を整備し管理することによって、利用しやすい駅となっている。
	5 良好である	
	4 おおむね適正である	
	3 問題がある	
	2 かなり問題がある	
	1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案		提案、提言内容
5	5 拡充する	鉄道利用者を増加させるためには、駐輪場・駐車場の拡充をされたい。
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ（分科会）

区分	施策名
1-1	公共交通の充実

事業名 新交通システム建設促進事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント	
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1		国家的プロジェクトであり、市民ニーズは図りにくい。	
	②ニーズが高い(20点)	2			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	1			
	⑤ニーズが低い(5点)	2			
	⑥ニーズがない(0点)				
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	1	○	20	近隣市町と足並みを揃えるため。
	②必要性が高い(20点)	3			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	3			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)				
	⑤必要性が低い(5点)	2			
	⑥必要性がない(0点)				
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		○	20	リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に参加することにより、国・県、JR東海の動向を把握することができた。
	②効果がある(20点)	2			
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3			
	④どちらかといえば効果がない(10点)				
	⑤効果が少ない(5点)	2			
	⑥効果がない(0点)				
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			15	早期建設および県内への停車駅設置の機運が高まりつつある。
	②成果がある(20点)	2			
	③どちらかといえば成果がある(15点)	4			
	④どちらかといえば成果がない(10点)				
	⑤成果が少ない(5点)	1			
	⑥成果がない(0点)				

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である	費用の支出が概ね適正であり問題はない。
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
5 拡充する	引き続きリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に加入し、今後も動向を把握されたい。
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ（分科会）

区分	施策名
1-1	公共交通の充実

事業名 福祉バス運行事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	4	○	高齢化社会に伴いニーズはきわめて高い。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	6	○	交通網が充実していないいなべ市では、市民の移動手段として必要である。
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	1		福祉という観点から、効果があるとする。
	②効果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)	1		
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			目標に対して90%以上の乗車数を確保している。
	②成果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	高齢者など交通弱者の生活交通手段として定着している。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
4	市民の生活交通手段を確保することは必要である。 今後、安全確保を最優先し、利便性の向上を図るため、有効な手段を模索しつつ事業を継続されたい。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ（分科会）

区分	施策名
1-1	公共交通の充実

事業名 終着駅サミット in 阿下喜開催事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)			広い市民ニーズから実施された事業ではない。
	②ニーズが高い(20点)			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	2		
	⑤ニーズが低い(5点)	3	○	
	⑥ニーズがない(0点)	1		
			5	
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)			民間主導の方が適切である。
	②必要性が高い(20点)			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	4		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	2		
	⑤必要性が低い(5点)	2	○	
	⑥必要性がない(0点)			
			5	
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)			費用はクラウドファンディングを用いて経費節減ができた。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3	○	
	④どちらかといえば効果がない(10点)	2		
	⑤効果が少ない(5点)	1		
	⑥効果がない(0点)			
			15	
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)			全国的に北勢線ならびにいなべ市の認知度の向上に寄与した。
	②成果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	5	○	
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)	2		
	⑥成果がない(0点)			
			15	

2. 分科会評価

評価		分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である	団体からの要望を受けての単年度事業であるため民間主導で行うべき事業である。
	5 良好である	
	4 おおむね適正である	
	3 問題がある	
	2 かなり問題がある	
	1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案		提案、提言内容
1	5 拡充する	市民ニーズが高くなく、継続事業としては考えられない。
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	